



コウノトリ

1971年に日本の空から姿を消した野生のコウノトリ。国内最後の生息地だった豊岡では、半世紀以上にわたりコウノトリの「いのち」を育む取り組みが行われ、今では野外に300羽を超えるコウノトリが暮らしています。

Contents

当金庫の事業方針	03	お客様に「安心」「安全」に	
当金庫の概況	04	お取引いただくために	25
但馬信用金庫と地域社会	05	財務の状況	35
中小企業の経営支援		注記事項	37
及び地域活性化への取り組み	07	預金の状況	40
主な商品・サービスのご案内	11	貸出金の状況	41
おすすめ商品・サービスのご案内	14	有価証券の状況	44
主な手数料のご案内	19	有価証券・為替の状況	46
総代会	21	経営指標その他	47
役員・組織	23	自己資本の充実の状況	50
たんしんのあゆみ	24	店舗紹介	57
		キャッシュコーナーのご案内	58

ごあいさつ



理事長 森垣 裕孝

平素は当金庫をご愛顧いただき、厚くお礼申し上げます。
本冊子は、皆様に当金庫へのご理解を一層深めていただくために作成したものでございます。
当金庫の業績、業務内容などについてご理解いただく一助になれば幸いです。

2023年度の金融経済環境は、コロナ感染症の5類移行を契機に経済の拡大傾向が続く中、一部業種では業績がコロナ禍前の水準をクリアする等回復基調が鮮明となっており、労使協調によるベアの実施、初任給の引き上げから30年振りの高い賃上げ率を実現する一方、海外発の資源高や円安等を要因とする消費者物価の上昇が進行したことから、いわゆる「賃金と物価が高まり合う経済の好循環」が到来したとの見立てが大勢を占めるようになりました。

また、海外投資家を中心とした株式市場への資金流入に加え、2024年1月に実施された新NISAによる個人投資家の資金流入により、3月には日経平均が4万円を超え34年振りに史上最高値を更新しました。これらの状況を踏まえ、日銀は2024年3月に約10年続いたマイナス金利政策を柱とする超金融緩和政策の修正を実施したことから、メガバンクが先行し各行庫が追随する形で預金金利の引き上げが実施されたものの、足元で続く物価高から実質賃金の低下が露呈、景気指標を大きく左右する個人消費の先行きや日銀による次の利上げ時期に注目が集まっている状況にあります。

2023年度は、中期経営計画「原点回帰 新たな扉を開くための挑戦」（2022年度～2024年度）の2年目として、引き続き、持続可能なビジネスモデル構築のために、①顧客との接点の向上による地域密着型経営の強化、②組織力を発揮した提案力の向上、③継続的な信頼を得るための経営管理態勢の強化の3つを基本戦略として掲げ、種々の施策を実施してまいりました。

お取引先に対しては、コロナ後の事業経営に対する伴走支援や事業再構築への取り組みへ向けた支援等の金融仲介機能の発揮をはじめ、地域クラウド交流会の開催等による創業支援、「ソーシャル企業認証制度・S認証」の取得を通じたESG経営の推進、後継者難への対応としてM&A支援の強化等に取り組みました。

さらに、お取引先への課題解決・提案力強化と業務の効率化を目的とした豊岡・朝来市内等のエリア制移行、増加する相続事案への対応策として相続手続きの本部集中化等に取り組みました。

2023年度の決算につきましては、期末残高で、預金積金は4,783億38百万円、貸出金は1,839億37百万円となりました。当期純利益は、資産の健全性確保のために諸償却並びに諸引当金の繰入れ、資金の効率的な運用、経営全般の合理化に努めました結果、5億円を計上するとともに、自己資本比率も21.92%と引き続き高い健全性を確保しております。

2024年度は第10次中期経営計画の最終年度であると同時に、当金庫創業100周年の節目の年度であることから、エリア制および事務集中化の完遂、M&A、ビジネスマッチング支援等の提案力強化、マネー・ローンダリングおよびサイバーセキュリティ対策等の態勢強化等、計画で定めた諸施策の総仕上げを行うことで、持続可能なビジネスモデルの構築を確かなものとするよう取り組む方針です。

しかし、物価高等の外部環境の変化により地域経済の回復にはまだまだ時間を要することから、お取引先に対しては、引き続き、金融仲介機能の発揮による伴走支援を強化するとともに、人口減少を地域課題と認識し、顧客ニーズを的確に捉えた商品やサービスの提供に努めるため、「スピードと実行力」をもって、さらにその先にある新たな扉を開くための挑戦を実践し、地域から真に必要なとされる金庫を目指して取り組んでまいります。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

理事長 森垣 裕孝